'98 ジムカーナ GP 第3戦 香川大会

5.3　HSR プラザ坂出　ドライ

ゴールデンウィーク中に行われたジムカーナ GP、驚くタイムも出た第3戦 !!

今年で4回目を迎えるジムカーナ GP 香川大会はゴールデンウィークまっただ中の5月3日にいつものHSR プラザ坂出にて開催された。沖縄 GP、愛知 GP に続いて第3戦として行われたこの大会には四国四県はもとより、近畿の各地や中には佐賀県や埼玉県からの参加者もあった。58 名の参加者は実力別に6クラスに分かれて2回のタイムアタックに挑戦した。

開会式では一人ずつ参加者の名前を紹介したが、香川の老舗のクラブの御歴々達の姿は見られなかった。雨は降っていなかったし、路面はドライだったのでタイムアタックして欲しかった。

慣熟歩行の後、A·B クラスの選手だけ試走を行った。これは大会の雰囲気に慣れてもらうのと安全にコースインしてもらう為だ。いよいよ第1ヒートが始まった。A クラス、GP 初参加の選手だが予想通り、地元大会でならしている共にブロス P−1 に乗る2人の優勝争いになってしまった。B クラス、参加者が2人で優勝、準優勝だ。CB−1 に乗る M 嬢、前日にパンク修理したタイヤは大丈夫でしょうか ?C クラス、ステップよりシリンダーを先に擦る BMW、パイロンを蹴散らしながら走る。香川 GP 初めての外車だ。GP が終わり次第、ミスターバイクの「シンヤ DAY」に参加の F 君、バイカーズ系の革ジャンに NSR に乗ってタイムアタックだ。ゼファー 750 で参加の B 選手、白バイ系の走りに周りは驚くが、同じ九州の参加者からは「ドロボー」コールが起きる。地元ではブイブイ言わせているのであろう。D−1 クラス、ミニバイカーズの KSR− Ⅱの2人、小回りを利かせて走るが2人ともミスコースだった。フリーターンではあんなに小さく回っていたのに… 1台のバイクで参加の N 夫妻、夫は普段とは違うバイクでの走行であったが何とか妻より速く走った。D−2 クラス、骨折から回復したばかりの S 氏、スタートしてすぐにフッ飛んでしまった。また病院送りかと心配されたがすぐに起こして再スタート、残りのコースもアグレッシブに攻める。懲りないヤツ ! 徳島の K 君と愛媛の I 君が D−2 クラスの中で別格のタイムを記録する。その徳島の K 君のタイムで第1ヒートは大騒ぎになるのである。最速レベルの E クラス、D−2 の K 君の出した1分 20 秒を抜くどころか 22 秒も切れない。そして第1ヒート最後の K 選手になってしまった。いつもの通り正確で最速のラインを描いて行くが一番奥のセクションでミスコースしそうになった。そのロスで 22 秒台だった。大騒ぎとはこれである。第1ヒートではあるが E クラス K 選手がトップを取れなかった事とベストラップを出したのが D−2 の選手だった事である。

計測がスムーズに進んで 12 時前よりお昼休みになった。食事の後、第2ヒート開始までは慣熟歩行 OK なのだが、E クラスの K 選手は誰よりも早くコースに出て歩いている。午前中にミスコースでタイムの残ってない選手は第2ヒートでタイムを残して欲しいものだ。

第2ヒート、スタート。A、B、C クラスと計測が進む。19 歳の W 嬢、今ノリノリである。やはり師匠が手取り足取り教えてくれるので実力を付けてきている。D−1 クラス、KSR− Ⅱの2人はいつもは何かしらやってくれるのだが、第1ヒートでタイムが出ていないのでマジメに走っている。でも最後はジャックナイフで決めてくれました。D−2 クラス、第1ヒートでベストタイムを記録している徳島の K 君、3秒詰めれば優勝も夢ではなかったがタイムアップ出来なかった。E クラス、いつものマシンと違う NSR で走行の京都の H 選手、ついにトップタイムを少しだが更新する。そして最後のスタート、黄色ブロスの神戸 K 選手だ。20 秒を切れれば勿論、優勝だが彼はここのコースで去年転倒して骨折しているのだ。だが、そんな心配も外科の回数券を持つ（ウソ）彼には必要ないだろう。アクセルでタイミングを取りながら呼吸を整えてスタート、速度が乗り切らずにラインが決まらないスタート直後のセクションも無難にまとめて、8の字を出た後の1番スピードが出る直線を過ぎて、第1ヒートで目線が泳いでタイムロスしたセクションも無事通過して回転、フリーターンの後ゴール、タイムが注目される。1分 18 秒 474、唯一 20 秒を切って優勝である。

計測終了後、コースを少し手直しして「走り込み」を行った。40 人以上が同時に走行したので、初めは混雑していたがその内、前後の選手との感覚も分かり、スムーズに流れるようになった。かれこれ 40 分近く走り込んだ後、表彰式となった。今年から増えたジムカーナ GP サポートの会社から頂いた賞品が入賞者や各賞の該当者に送られた。最後に、実力アップした人を表彰するおなじみ、妖怪の「ジムカーナ漫談」で締め括った。

ジムカーナ GP 香川大会は来年も開催予定ですのでよろしくお願いします。そして、この後もジムカーナ GP は7月の広島 GP、8月の長野 GP と続きます。どうぞご期待下さい。

Report by
「10 年目のナナハン」

RESULT

順位／氏名／マシン

● A クラス
1　石本大志　ブロス P−1
2　弓立浩二　ブロス P−1
3　馬場賢治　VTR1000F
4　片山靖士　ZZ−R1100

● B クラス
1　村田恵美　CB−1
2　重松由起子　バリオス

● C クラス
1　馬場勝之　ゼファー 750
2　中村若菜　NSR250RSP
3　秋山等志　ブロス P−1
4　村田栄治　NSR250R
5　三島誉徳　FZ400
6　福岡聖二　NSR250R

● D−1 クラス
1　福積正美　ブロス P−1
2　吉岡輝顕　KSR− Ⅱ 80
3　波多野勇　KSR− Ⅱ 80
4　伊藤泰啓　スーパーシェルパ
5　杉山　剛　NSR250R
6　天野修也　スパーダ

● D−2 クラス
1　川井秀彦　VFR400K
2　池浦彰寿　ブロス P−1
3　氏原一誓　NSR250R
4　時岡一裕　ブロス P−1
5　須本禎郎　VFR750F
6　松崎和真　VFR400R

● E クラス
1　小林裕之　ブロス P−1
2　長谷阪昇次　NSR250RSP
3　内海伸二　ブロス P−1
4　堀越徹也　NSR250R
5　谷口淳司　RGV250 Γ
6　千手淳司　ブロス P−1